

7月は「同和問題啓発強調月間」です

ことば 柴田トヨ

何気なく
言った ことばが
人を どれほど
傷つけていたか
後になって
気がつくことがある

そんな時
私はいそいで
その人の
心のなかを訪ね
ごめんなさい
と 言いながら

消しゴムと
エンピツで
ことばを修正してゆく

くじけないで

ねえ 不幸だなんて
溜息をつかないで

陽射しやそよ風は
えこひいきしない

夢は
平等に見られるのよ

私 辛いことが
あつたけれど
生きていてよかつた

あなたもくじけずに



●この詩は、90歳過ぎてから詩作を始めた柴田トヨさんの作品です。柴田さんは、明治、大正、昭和、平成と一世紀を生きてきました。詩には、柴田さんのいつまでも変わらない、みずみずしい感性があらわれ出ています。「出典」くじけないで 柴田トヨ（飛鳥新社）

同和問題は、人間の自由と平等に関する問題で、憲法で保障されている基本的な権利（職業選択の自由、教育の機会均等を保障される権利、居住および移転の自由、結婚の自由など）が、同和地区出身というだけで、完全に保障されていないという問題です。

福岡県は、同和問題の解決を目指して、県民一人一人の協力を得るために、昭和56（1981）年から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」としています。この期間には、各種行事を集中的に実施し、県民あげて、差別をなくす運動を展開しています。

市でも、街頭啓発や広報車による市内広報、公民館、職場などの講演会、学習会などを開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

柳川市人権・同和教育夏期講座

- ◆日時 7月6日（土）、午後1時30分開場、午後2時開演
- ◆会場 大和公民館大ホール（入場無料）
- ◆内容 音楽評論家で音楽プロデューサーの藤田正さんを講師に、「竹田の子守唄」名曲に隠された真実」の演題で講演（90分）



ただし
藤田 正さん
大学時代から音楽関係月刊誌の編集者やライターとして活動。現在も、執筆やCD制作の責任者を務める。主な著作には、「竹田の子守唄 名作に隠された真実」「オキナワをうたう登川誠仁自伝」（企画・構成）がある。CDプロデューズ作品としては、「竹田の子守唄」^{スピリチュアル}「Spiritual Unity」^{ユニティ}／登川誠仁」などがある。

街頭啓発

- ◆日時・場所 7月1日（月）、午前7時ごろから西鉄柳川駅など市内6か所、午後3時50分ごろから、市内のスーパーマーケットなど4か所

福岡県「同和問題啓発強調月間」講演会

- ◆日時 7月20日（土）、午後0時30分開場、午後1時30分開演
- ◆会場 春日市「クローバンプラザ」大ホール（入場無料）
- ◆テーマ つながりをもとめて
- ◆内容 第1部 講演
演題 ぬくもりを感じて
講師 徳島県人権エンタメ集団「友輝」の中倉茂樹さん
第2部 映画「三月三日の風」水平社誕生物語

問い合わせは、市人権・同和对策室（☎77・8532）または、市人権・同和教育推進室（☎77・8842）まで。

※広報6月1日号の24ページ、松見正宣さんが人権・同和関係書籍を寄贈された記事で、敬称を省略していました。訂正しお詫びします。